

循環研 CSR セミナーのご案内

高く評価される 2019 年版報告書とは

—SDGs は第二ステージへ—

謹啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、企業は等身大の姿を評価されるためにさまざまなメディアを活用し情報を発信しています。また、こうした取り組みを促進するために多くの組織からガイドラインが発行されています。しかし、ガイドラインに依拠するだけでは、日本および日本企業特有の社会課題への対応を見落とす危険性もあります。

NPO 法人循環研では、平素より国内外の社会課題を注視し、その解決策や緩和の方向性を討議し発信してきました。同時に毎年約 350 社以上の報告書を精査し、その動向やベストプラクティスを把握し、今後の情報開示や取り組みなどを提案しています。本セミナーでの配布資料は、「今後の取り組みや情報開示の社内合意に役立つ」との声が多数寄せられております。本年も下記の内容によるセミナーを開催させていただきます。ぜひ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム① SDGs をどのように経営にビルトインするか

日刊工業新聞社 編集委員 松木喬

SDGs に取り組む企業は確実に増えてきています。ただ、その多くは従来の取り組みと SDGs を紐づけることに留まっています。最終ゴールを見据えた中長期的な価値創造戦略の再構築へと第二ステージに移行することが必要です。単なる”参照”から具体的な“変革”が問われ始めている、といえましょう。そのための第一歩が経営に SDGs をビルトインすることです。豊富が実例をあげ、社会課題解決を通じた企業の成長の道を示します。

プログラム② 高く評価される 2019 年版報告書とは

NPO 法人循環型社会研究会 理事 山口民雄

期待する報告書のゴールポストは常に高みに向けて動いています。そのため、昨年と同様の報告書では相対的に後退してしまいます。「期待」そのものが肥大化していることに他ありません。発行されるさまざまなガイドラインやイニシアティブはそうした「期待」の凝縮、整理されたものです。改めてそれらを確認するとともに、社会課題を把握して先進企業の取り組み、開示状況を確認し、自社での具体化を検討することは、相対的な後退を回避するために不可欠です。本セミナーでは、グッドプラクティスをその背景とともに多数紹介します。

□開催日時：2018年5月21日(火)13:30~16:00 (開場 13:15~)

□会場：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター カンファレンスルーム 4I (裏面地図参照)

〒104-8388 東京都中央区京橋 1-7-1 戸田ビルディング 4F

□参加費：一人 15,000 円 (下記資料代込み、事前に銀行振込または当日受付にてお支払いください)

□配布資料

- ①「350 報告書ポイント一覧」、②「2018 年版報告書の動向と記載事例」(A4、約 440 頁)、③当日講演資料、④「SDGs をどのように経営にビルトインするか」講演資料

□定員：32 名 (1 企業から最大 4 名、定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます)

